

アジア・ハイ・イールド債券市場の動向と今後の見通し

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/債券

2018年9月28日

アジア・ハイ・イールド債券市場の動向につきまして、「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)」が主要投資対象としております「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」の運用会社であるJ.P.モルガン・アセット・マネジメント株式会社からのコメント(要約および抜粋)を以下にご紹介致します。

【当レポートのポイント】

- 8月の米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券市場は、新興国市場からの資金流出や米中貿易摩擦への懸念などから小幅な上昇にとどまる。
- 新興国通貨が下落基調をたどった一方で、堅調な米経済指標を背景に米ドルが上昇したことから、米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券市場は相対的に堅調に推移。
- 中国政府が、通貨安抑制策を打ち出していることに加え、預金準備率の引き下げや公開市場操作を通じて金融市場に資金供給を行うなどの対策を行っていることが市場を下支えすると考える。

米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券指数と現地通貨建て新興国国債の推移

(期間:2017年8月末~2018年8月末(2017年8月末を100として指数化)、円ベース)

米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券指数: J.P. Morgan Asia Credit Index Corporate Non-Investment Grade

現地通貨建て新興国国債: J.P. Morgan Global Bond Index Emerging Markets Broad Composite

— 米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券指数 — 現地通貨建て新興国国債



(出所): ブルームバーグ、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー、J.P.モルガン・アセット・マネジメントより岡三アセットマネジメント作成

【8月の米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券市場の動向】

米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券市場は、前月末比で小幅上昇しました。当月は、①トルコ・リラやアルゼンチン・ペソが米ドルに対して約25%下落するなど新興国市場からの資金流出に加え、②中国における経済成長減速や米中貿易摩擦への懸念などが市場心理の重石となり、小幅な上昇にとどまりました。

新興国通貨は下落基調をたどった一方で、米ドルは堅調な米経済指標を背景に上昇しました。そのため、海外資金への依存度の高いインドネシア・ルピアをはじめとした現地通貨建てアジア債券市場と比較すると、米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券市場は相対的に堅調に推移しました。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点でのJ.P.モルガン・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

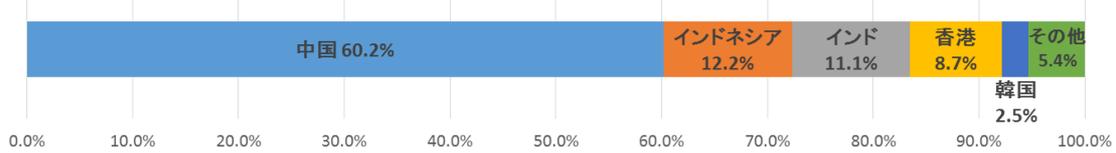
アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/債券

【8月のファンドの運用状況】

当月は、相対的に軟調に推移したインドネシアの銘柄保有率が高かったことが当ファンドのマイナス要因となりました。市場の変動性が高まる一方で、中国の銘柄保有についてはデュレーションの短期化を行ったことにより銘柄選択の面でプラスに寄与しました。

(デュレーション:債券に投資された資金の平均回収期間のこと。金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す感応度の性格も持つ。一般にデュレーションが長いほど、金利リスクが高いことを示す。)

「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」の業種別構成比率
(2018年8月末現在)



(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」とは、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり/なし)(適格機関投資家専用)」が主要投資対象としているファンドです。
(出所):J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー、J.P.モルガン・アセット・マネジメントより岡三アセットマネジメント作成
業種別構成比率は、四捨五入のため100%とならない場合があります。

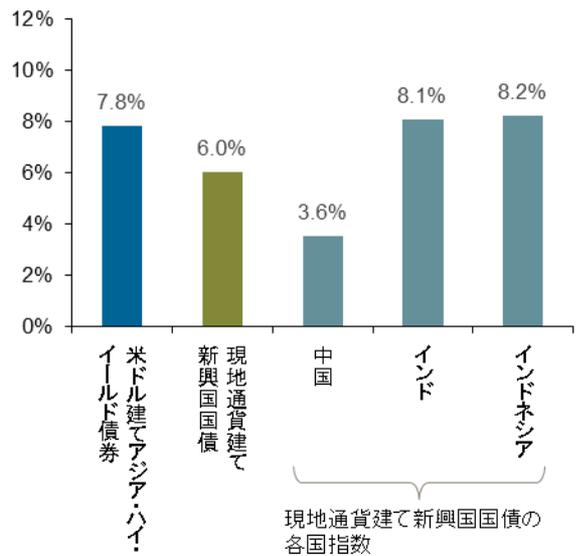
【市場の見通しと今後の運用方針】

アジアのハイ・イールド債券の発行体は、世界経済の成長が継続する中で、収益や財務状況は相対的に堅調かつ改善傾向にあり、また、デフォルト率も低水準で推移すると予想されており、良好なファンダメンタルズの継続が期待されます。一方、米中貿易摩擦の深刻化や一部新興国の動向は市場の変動性を高める要因となるため、注視が必要と考えます。

中国人民元の下落などを背景に変動性が高まっているとの懸念がありますが、中央銀行が通貨安抑制策を打ち出していることに加え、預金準備率の引き下げや公開市場操作を通じて金融市場に資金供給を行うなど対策を行っています。このような環境下、アジア・ハイ・イールド債券のファンダメンタルズは、引き続き良好と見ています。また、米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券は、米ドル建てであることや、相対的に高い利回りなどがサポート材料になると考えています。

当ファンドの運用においては、今後も市場の変動性に十分留意しながら、慎重な業種・銘柄選択を行い、ハイ・イールド債券の中でも割安と思われる債券への投資を継続する方針です。

各債券の利回り(2018年8月末現在)



米ドル建てアジア・ハイ・イールド債券: J.P. Morgan Asia Credit Index Corporate Non-Investment Grade、現地通貨建て新興国国債: J.P. Morgan Global Bond Index Emerging Markets Broad Composite、現地通貨建て中国国債: J.P. Morgan Global Bond Index Emerging Markets Broad China、現地通貨建てインド国債: J.P. Morgan Global Bond Index Emerging Markets Broad India、現地通貨建てインドネシア国債: J.P. Morgan Global Bond Index Emerging Markets Broad Indonesia

(出所):ブルームバーグ、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー、J.P.モルガン・アセット・マネジメントより岡三アセットマネジメント作成

※J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

※本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点における当社および当社グループの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

(作成: 運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社で作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点でのJ.P.モルガン・アセット・マネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認の上、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

**アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/債券**

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、アジアのハイ・イールド債券、転換社債（CB）等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「信用リスク」、「金利変動リスク」、「転換社債（CB）の価格変動リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.78%(税抜3.5%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.2%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.2636%（税抜1.17%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.9236%程度～年率1.9548%程度

実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

アジア ハイ・イールド・プラス(毎月決算型)(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／債券

2018年9月28日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)